



第99号

社協だより

令和3年9月25日発行

今月の題字

北方小学校
小寺 ろなさん

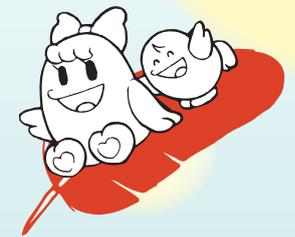
赤い羽根共同募金運動がはじまります

あなたと私は、
赤い羽根でつながっている。

「あの人」を支えたい。困ったときはお互いさまだから。
その小さな思いが、街角から、ネットから、地域の住民から集まってくる。
意志あるお金は「あの人」を支えるための力となる。募金をする人、活動をする人、支えられる人。
みんな、赤い羽根でつながっているのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



(関連記事は2ページ)

本誌に対してのご意見・ご要望がございましたら、
下記までお寄せください。

も く じ

- 赤い羽根共同募金のお願い、脳トレコーナー …… 2
- おたすけサポーターはなもも 他 …… 3
- 施設だより …… 4
- 協定締結、福祉教育事業 他 …… 5
- おしらせ／予定など …… 6

編集・発行

社会福祉法人

揖斐川町社会福祉協議会

〒501-1314 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲名礼 265 番地 43
TEL (0585) 56-3700 FAX (0585) 56-0078
<http://www.ibi-syakyou.jp/>
E-mail ik-syakyou@octn.jp

この社協だよりは、共同募金の配分を受けて作成しています。

赤い羽根共同募金運動がはじまります

【運動期間】 10月1日～12月31日



▲揖斐川町老人クラブ連合会
文化作品展会場



▲パロー揖斐川店前

今年も10月1日～12月31日まで全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。

この共同募金運動は、戦後まもない昭和22年に始まり、地域住民のご理解とご協力のもと今年で76回目を迎えました。岐阜県共同募金会揖斐川町分会では、「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」の2つの募金をあわせて共同募金と呼び、一括しての募金をお願いしています。

皆様からお寄せいただいた募金は、岐阜県共同募金会を通じ、岐阜県内の民間社会福祉施設や社会福祉協議会に配分され、地域の福祉に役立てられます。

赤い羽根共同募金運動は、一人ひとりのやさしい気持ちを集める活動です。皆様のやさしさが地域の福祉活動に役立てられ、高齢者、障がい者、子どもたちへの地域の福祉活動を支援します。皆様のご協力をお願いいたします。

脳トレコーナー

認知症予防等のための「脳のトレーニング」クイズです。

正解者の中から抽選で5名様に、図書カードをプレゼントします。

●応募要項

ハガキに答え・住所・氏名・年齢をご記入の上、下記までご応募ください。また、社会福祉協議会に対するご意見、ご希望もあわせてお寄せください。

●応募先

〒501-1314 揖斐川町谷汲名礼 265 番地 43
揖斐川町社会福祉協議会 地域福祉係

何と読むでしょう！？

大り

●応募期間

令和3年9月27日（月）～令和3年10月8日（金）必着

※発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

※先月号の答えは・・・五十音「あかさなはま」までの中に「た」がないので、『たぬき』となります。

（13通の応募があり、正解者は13名でした。ありがとうございました。）

おたすけサポーター はなもも

(揖斐川町生活支援体制整備事業)

「新しいサポーターが増えました」

「おたすけサポーター はなもも」では、普段の暮らしの中でちょっとした困りごとをお手伝いしています。今年度の「生活支援サポーター養成講座」の修了者も加わり、より一層地域に密着した活動をめざして活動していきます。何か困りごとがありましたら、ご相談ください。

【活動内容】

- ・ゴミ出し・資源ごみ出し(エコドーム)・買い物代行・室内掃除・話し相手・見守りなど
- ・月曜日～金曜日 9時～17時(祝祭日・年末年始除く)
- ・10分(1000円) 40分以内(5000円)
- ・原則65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯(その他の方は要相談)
- ・問合せ先：揖斐川町社会福祉協議会 揖斐川支所 電話23・0411

～養成講座全7回～

▼視覚障がいの体験



▲車いすの操作方法と体験



▲サポーターのみなさん

認知症サポーター養成講座&認知症講座

(認知地域支援・ケア向上事業)

「認知症について理解を深めました」

6月25日(金)、北方小学校4年生を対象に、久瀬診療所の小山医師、後藤医師、松井看護師、グループホームひまわりの田中施設長、竹尾介護士を講師にお招きし、認知症サポーター養成講座を行いました。

初めに、久瀬診療所の医師、看護師から、認知症についてクイズ形式を取り入れながら説明がありました。その後、ロールプレイでは、グループホームひまわりの職員が英ジイ、竹バアに変装し、認知症の方に対する接し方・声かけの仕方について、児童を巻き込みながら寸劇を行い楽しく学びました。7月26日(月)、傾聴ボランティア「ダンボ」・揖斐川町赤十字奉仕団の役員を対象に、久瀬診療所の児玉医師、松井看護師を講師にお招きし、認知症講座を行いました。

初めに認知症についての正しい知識を学んだ後、漫画を題材に認知症の人が見ている世界や家族、ケアする人の見ている世界を考え、相手の気持ちに寄り添うことが大切であることも学びました。みなさん真剣に講義を聞かれ、質疑応答では、地域での認知症の方への対応方法を教えていただきました。この講座を通じて、認知症の方への理解や接し方を学んでもらうことができました。



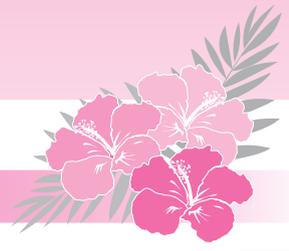
▲北方小学校
認知症サポーター養成講座



▲傾聴ボランティアダンボ
揖斐川町赤十字奉仕団 認知症講座



施設だより



谷汲デイサービスセンター

「夏祭り」

谷汲デイサービスセンターでは、8月24日(火)～26日(木)の3日間にわたり毎年恒例の「夏祭り」を開催しました。今年も提灯などを飾り付けて、祭りらしい雰囲気の中、射的や輪投げなどの懐かしいゲームを楽しんでもらいました。

ゲームには景品も用意し、利用者様も張り切って参加されていました。「懐かしかった」「お祭りの雰囲気が好き」との声が多く聞かれました。

利用者様の笑顔があちらこちらで見られ、最後まで盛況で終わることができました。これからも利用者様に楽しんでいただけるような季節行事を計画していきたいと思えます。



▲お菓子すくいを楽しみました。

春日デイサービスセンター

「納涼祭り」流しそうめん」

春日デイサービスセンターでは、季節の行事の1環として、毎年恒例の流しそうめんを8月10日(火)、12日(木)、13日(金)、14日(土)に開催しました。流しそうめんに使う竹は、地域の方のご協力で開催していただきました。

本来であれば、利用者様に流れて来るそうめんをすくって食べていただくのですが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、職員がそうめんを箸ですくい、利用者様が手にしている器に入れ、味わってもらいました。

今年は、天候により外での竹を使った流しそうめんは1日のみで、それ以外の日は室内でそうめんを堪能していただきましたが、利用者様からは、「冷たくて旨いわ」との声も聞かれ、暑い夏のひと時の涼しげな時間を過ごしていただきました。



▲流しそうめんを楽しみました。

坂内デイサービスセンターもみの木

「夏祭り」

坂内デイサービスセンターでは、8月23日(月)、24日(火)の2日間にわたり夏の恒例行事「夏祭り」を開催しました。職員からの日頃の感謝を込め、金魚すくいや射的等の屋台と景品を用意しました。

利用者の皆様は、童心に帰り懸命にゲームに取り組まれている様に見受けられました。ゲームが終わると、見事、袋いっぱい景品を獲得され、喜んで帰っていただきました。

今年の夏祭りも皆さんの笑顔が溢れ、大好評のうちに終了することができました。今後利用者様に楽しんでいただける行事を計画していこうと思えます。



▲金魚すくいを楽しみました。

災害時における協力体制に関する協定書の締結について

災害ボランティアセンター事業

8月2日(月) 揖斐川町役場において、揖斐川町、大垣青年会議所、本会の3者による「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

この協定は、揖斐川町内で自然災害等住民の生命、身体及び財産に重大な被害が生じる事態が発生した際に、本会が開設する災害ボランティアセンターの運営に関して、揖斐川町及び本会が被災者の生活に関する支援・協力を大垣青年会議所に要請し、総合的な支援活動等の協力体制の構築を図ることを目的としています。

災害ボランティアセンターの立ち上げは、被災者にとって復興に向けた第一歩となる大切な支援として欠かせないものです。今後も、各関係機関と連携し、安全で住みよい災害に強い地域づくりを進めてまいります。



▲災害時における協力体制に関する協定を締結しました。

福祉教育事業(谷汲小学校)

(共同募金配分金事業)

谷汲小学校4年生20名を対象に、高齢者疑似体験学習を行いました。

初めに、本会職員より高齢者や高齢化率など揖斐川町の現状について説明を行いました。

また、子どもたちには、高齢になると心や体などのように変化するか発表してもらいました。

その後、2人1組で高齢者疑似体験の装具を付けた体験者と介助者に分かれ、新聞めくりや段の上り下りなど7種類の体験をしました。「文字が見にくく、字も書きにくかったので、お年寄りの気持ちになって接していきたい。高齢者は自分の思うようにできず、ストレスを感じることも多いと思うので優しく手伝ってあげたい。」など、体験を通して、高齢者への理解が深まり、高齢者への接し方などを勉強することができました。



▲装具を使い高齢者疑似体験を行いました。

福祉委員会の方に委嘱状を交付しました

(福祉委員事業)

令和3年4月から6月にかけて、各地区の福祉委員会、福祉連絡会、福祉懇談会にて、令和3年度新しく福祉委員に選任された方へ、委嘱状の交付と福祉委員の役割について説明を行いました。また、区長、民生委員・児童委員、福祉委員の三者で情報共有を行い、今後の活動についても話し合いが行われました。

コロナ禍により、会議の開催時間が短いため、十分な話し合いはできませんでしたが、出席者の方からは、「三者の情報交換や連携は必要であることを改めて認識する会議になった」という声がありました。

今後も関係機関と連携を行い、「誰一人取り残さない支え「あい」のまち」づくりを地域の皆さんと一緒に推進していきます。



▲委嘱状交付



▲清水地区

ひとり親家庭等支援事業 (共同募金配分金事業)

1. 対象者：町内在住で、次のいずれかに該当し、支援を希望される世帯の子ども(0～18歳)
①母子家庭等世帯の子ども
②父子家庭世帯の子ども
 2. 支援内容：子ども1人あたり、2,000円分の図書カードを贈ります。
 3. 申込方法：社会福祉協議会本部または各支所までお申込みください。
 4. 申込締切：令和3年10月28日(木)
 5. 配付：12月に配付する予定です。
- ※詳細は社会福祉協議会・地域福祉係(☎23-0411)までお尋ねください。

あたたかいこころ

こころあたたまる寄付をいただき誠にありがとうございました。
【令和3年7月1日から8月31日まで】



★匿名(揖斐川)
…服、ズボン各4着、肌着1着



★廣瀬様(揖斐川)
……………米60kg



★匿名(谷汲) ……………マスク50枚、巾着袋15枚
※ご寄付いただいたマスクの配付を行っております。
希望者は社会福祉協議会までご連絡ください。



次のとおり職員を募集します

◎介護職員

令和4年度採用

- 採用人数：若干名
- 応募資格：介護福祉士、介護職員初任者研修等の資格を有する方が望ましい
- 勤務先：揖斐川町社会福祉協議会
通所介護事業所(デイサービスセンター)
- 申込方法：履歴書(市販の用紙)、有資格者の場合は資格証明書(写し)を添付し、揖斐川町社会福祉協議会地域福祉総務課まで提出してください。
- 受付期限：令和3年10月25日(月)まで ※必着
- 採用試験：令和3年11月中旬(予定)
- 試験会場：揖斐川町谷汲文化会館
- 試験内容：面接、作文、一般教養
- 採用合格発表：令和3年11月下旬(予定)
- 採用予定日：令和4年4月1日
- 問合せ先：地域福祉総務課(担当：古野、松井)
☎56-3700

デイサービスセンター看護師急募!

臨時職員

- 勤務地：春日デイサービスセンター
- 勤務日数：週2日程度
- 勤務時間：6時間程度
- 必用資格：看護師又は准看護師
- 問合せ先：地域福祉総務課(担当：古野、松井)
☎56-3700

気軽に
お問い合わせ
ください。

10月11月の予定

10月 6日(水)	おたっしや教室(久瀬)
12日(火)	おたっしや教室(春日)
13日(水)	おたっしや教室(坂内)
18日(月)	フレッシュエがお(ボランティアの日)
19日(火)	おたっしや教室(久瀬)
26日(火)	おたっしや教室(藤橋)
27日(水)	おたっしや教室(坂内)
中旬	ミニ運動会(谷汲デイサービスセンター)
中旬	ミニ運動会(春日デイサービスセンター)
中旬	運動会(坂内デイサービスセンターもみの木)

11月 8日(月)	フレッシュエがお(ボランティアの日)
9日(火)	おたっしや教室(春日)
10日(水)	おたっしや教室(坂内)
16日(火)	おたっしや教室(久瀬)
17日(水)	おたっしや教室(久瀬)
24日(水)	おたっしや教室(坂内)
30日(火)	おたっしや教室(藤橋)
中旬	喫茶会(春日デイサービスセンター)

※新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を中止させていただくこともございます。



各支所・事業所電話番号

揖斐川支所(福祉総合支援センター内)	☎ 23-0411
谷汲デイサービスセンター	☎ 56-3630
春日支所・春日デイサービスセンター(かすがモリモリ村内)	☎ 58-0008
久瀬支所	☎ 54-2288

藤橋支所(藤橋振興事務所内)	☎ 52-2111
坂内支所・坂内デイサービスセンターもみの木	☎ 53-2662
高齢者住宅「はなもも」(坂内)	☎ 53-0007